

田舎暮らしから田舎暮らしへ。  
夫婦二人での新たなステージ。

## 田舎暮らしを満喫してきた家族。 60を過ぎて考える田舎暮らし。

大阪で生活していた竹内さんご夫妻。実家の鉄工所で働いていた竹内秀豪さん、某大手企業で働いていたまゆみさん。子どもができ、病気がちであった子どもの為にも自然豊かな空気の良い地で生活を考えるようになり、当時有機農業に力をいれ移住者の受け入れを行っていた、和歌山県の南部に位置する那智勝浦町色川地域に移住し、田舎暮らしを始める。

養鶏と有機農業を家族で営みながら、自給自足に近い生活を送り、毎日家族で囲む食卓がある暮らしで、病気がちな子どもも健康になりのびのびと育ち、自立心のある子どもへと成長し、娘二人も自立し子育てを終えた竹内さんご夫婦は、田舎暮らしの次へのステージへと進む事を考える。60を過ぎ今までやってこれた養鶏、広大な土地の草刈、の事を考えると、体力が衰えていく中で、田舎暮らしを知り尽くしたご夫婦が選んだ道が国東市への移住でした。奥さんの実家に近い場所で、和歌山でもあった温泉地への移住を考えるようになり、候補があがってきたのがおんせん県おおいた別府の地。自分たちのイメージとは合わなく、もう少し広域で考えるようになった時にホームページで出会ったのが国東市の空き家バンク。手ごろな物件を見つけ、手を入れないと住む事ができない物件ではあったが、大工仕事が得意な旦那さんが近くの賃貸に住みながら、一年近くかけ自分たちの気に入る空間づくりをした自分たちの住家。車庫も自分で作るなど創作意欲が次から湧いてきて、今はこの家で始めて迎える冬支度としてロケットストーブ。可能性が広がる国東暮らし、田舎暮らしを経験してきた二人の新たなステージの始まり。

### 国東市に来て感じたこと

和歌山に住んでいた時に比べ、場所が大変気に入っている。大分空港があり、娘たちのいるドイツや横浜に行くのに非常に便利で、大分空港から成田そしてドイツへと、羽田から横浜へとアクセス抜群。また、妻の実家山口県へ渡るフェリーもあり竹内さん夫婦にとってはもってこいの場所。

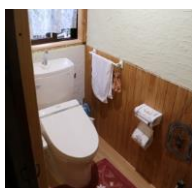
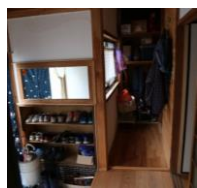
自然豊かで山がきれい。トレッキングやサイクリングを楽しめるのも魅力を感じています。

立派な鳥獣害対策がされているゴミ収集場がすごいと感じる一方、ごみを野焼きをする方も多く、空気がきれいな場所なのに空気を汚してもったいなく思える。



### 移住を考えている方へ

和歌山にいる時も先輩移住者として、移住希望者の相談役などをしていたので、移住を考えている方へのアドバイス、自分でするリフォームなど相談にのりますので是非。年配の移住者は、シルバー人材センターに登録し、小遣い稼ぎをするのを勧めます。仲間もできやすいし、国東の事をいろいろ知れます。



#### Profile

竹内 秀豪 大阪府出身  
まゆみ 山口県出身

#### 物件購入

リフォーム費用 約300万円  
水回りのみ業者後は自分たちで  
引越費用 交通費のみ自分たちで

移住年月 平成28年4月

移住前職業 養鶏・農業(自営)

移住元 和歌山県東牟婁郡